

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第6回

「これも学習マンガだ!」を主催する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル: 歴史

『新九郎、奔る!』

著者: ゆうきまさみ
出版社: 小学館



企画監修: 山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成: 松尾奈々絵(マンガナイト理事)

「応仁の乱」の幕が上がる1467年。日本ではこの出来事をきっかけに戦国時代へと突入します。今回で紹介する『新九郎、奔る!』の主人公は、のちに北条早雲となる伊勢新九郎(幼名:千代丸)。物語冒頭は1493年、伊豆国北条鎌倉公方の御所を新九郎が襲撃する、のちに「伊豆討ち入り」とよばれるシーンから始まりますが、場面はすぐに彼がまだ十一才だった1466年に戻り、物語がスタートします。1466年は応仁の乱が起こる一年前、離

当時の室町幕府將軍は八代目・足利義政。政務のトップである「管領」は斯波氏、細川氏、畠山氏

れて暮らす父・伊勢備前守盛定に呼びだされ、自分以外の家族が暮らす伯父・貞親邸にやってきた新九郎。伊勢家一門の子弟としてすべきことを学ぶために、政治の中心を兼ねる貞親邸で暮らすことになり。伊勢貞親は政所の長官を家業にしていたため、財政を握っており、強い力を持っていました。

の三家が持ち回りで担い、侍所の長官である「四職」は赤松氏、京極氏、一色氏、山名氏の四家が持ち回りでしたが、四家の中でも山名宗全が率いる山名一族は、六代目將軍足利義教を暗殺した赤松満祐を討伐戦で活躍し、力をつけていました。その後、畠山氏の後継者争いや將軍家の後継ぎ問題が起こり、畠山義就に加勢する西軍率いる山名宗全と、畠山政長を保護する東軍率いる細川勝元の争いに発展。新九郎が暮らす伊勢邸の隣、一色義直邸が襲撃され、「応仁の乱」の幕が上がります。

正義感が強く、利発な少年である新九郎が「伊豆討ち入り」に至るまでにどのように活躍しているのか。巻を読み進めるほど新九郎を中心としたキャラクターたちに惹きつけられる展開が続きます。普段マンガをあまり手に取らない歴史好きな方にもぜひ手に取ってほしい作品です。

これも学習マンガだ!

Manga Edutainment 世界発見プロジェクト

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!」は、新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表し、国内外の読者に作品を届ける事業です。マンガの持つ「楽しさ」「分かりやすさ」「共感性」に着目し、社会をより良いものにしていきます。

マンガナイト
<http://gakushumanga.jp/>

